

平成22年度 岐阜県高等学校バスケットボール新人大会  
 兼 東海高等学校バスケットボール新人大会県予選会  
 大会最終日:平成23年1月30日(日)  
 会場:大垣市総合体育館

## 男子の部

<審判>

5位決定戦 中津川工 96  $\left[ \begin{array}{l} 18 - 11 \\ 23 - 16 \\ 22 - 11 \\ 33 - 7 \end{array} \right]$  45 長良 小森邦弘・中川雅也

決勝リーグ 美濃加茂 109  $\left[ \begin{array}{l} 31 - 20 \\ 40 - 17 \\ 20 - 17 \\ 18 - 33 \end{array} \right]$  87 富田 棚橋英一・瀬川雄一郎  
 (2勝) (2敗)

美濃加茂は1-2-1-1のプレスから2-1-2ゾーン、富田はハーフコートマンツーマンでスタートする。第1ピリオド、美濃加茂は長身の 范、赤土を中心に攻撃を展開し、得点を重ねていく。富田はリバウンドがとれず苦しい展開となるが、山田、安藤のシュートで粘りを見せる。第1ピリオドは美濃加茂が31-20とリードする。

第2ピリオド、富田は美濃加茂の激しいディフェンスに苦しみ、得点が伸びない。美濃加茂は田口の4連続シュートが決まるなど勢いが止まらず、前半を71-37と大量リードで折り返す。

第3ピリオド、点差を縮めたい富田は池上や安藤がシュートを放つが単発で終わってしまい、反撃の糸口が見つからず、91-54と美濃加茂リードで第3ピリオドを終了する。

第4ピリオド、美濃加茂はベンチメンバーを出場させる余裕を見せ、地力に勝る美濃加茂が109-87で勝ち、決勝リーグ2勝目をあげた。富田も第4ピリオドに新井が7本の3点シュートを含む25得点をあげ、必死に追い上げるが前半の失点が多すぎた。(中田真由美)

決勝リーグ 岐阜総合 79  $\left[ \begin{array}{l} 23 - 16 \\ 13 - 18 \\ 21 - 4 \\ 22 - 28 \end{array} \right]$  66 岐阜農林 相宮俊郎・津田健介  
 (2勝) (2敗)

両チームともにマンツーマンでスタート。岐阜農林吉田が、ファウルをされて得たフリースローを決めて先制。両チームともゴール下でのファウルが起きて、フリースローの得点が多くなる。岐阜総合は、光石のバスケットカウントなどでリズムをつかみ、23-16とリードして第1ピリオドを終了する。

第2ピリオド、岐阜総合はミスが続いて、相手の速攻などで1点差まで詰め寄られる。タイムアウト後、岐阜総合は松岡の力強いリバウンドプレーやシュートで加点する。岐阜農林も早崎のスティールからの速攻や3点シュートで追い上げ、前半を終わって36-34と岐阜総合の2点リードとなった。

第3ピリオド、岐阜総合は菅野の3点シュートをきっかけに波に乗り、山川、菅野のドライブや3点シュートで次々に加点していった。岐阜農林はメンバーを入れ替えながら応戦するが、シュートが決まらず苦しい展開となった。57-38と岐阜総合がリードを広げて終了する。

第4ピリオド、岐阜農林は激しいディフェンスから相手のミス誘い、早崎のドライブを軸に得点を伸ばし、8点差まで追い上げる。その後もオールコートマンツーマンに切り替えて、激しくプレッシャーをかけたが、岐阜総合は落ち着いてパスを回し、途中出場の西尾が3本の3点シュートを決めるなどして相手の巻き返しを許さなかった。結局、79-66で岐阜総合が勝利して、決勝リーグの2勝目をあげた。(河野未紗)

決勝 リーグ	美濃加茂 (3勝)	92	$\begin{bmatrix} 27 & - & 20 \\ 13 & - & 9 \\ 30 & - & 17 \\ 22 & - & 19 \end{bmatrix}$	65	岐阜総合 (2勝1敗)	大江裕之・名越龍男

第1ピリオド、美濃加茂は1-2-1-1オールコートゾーンプレス、岐阜総合はハーフコートマンツーマンでスタートする。美濃加茂は 田口のアウトサイドシュート、赤土のインサイドプレーで加点していく。岐阜総合は 菅野がドライブで加点していく。美濃加茂は 松井、赤土がフリースローを確実に決めて、27-20と一歩リードして終了する。

第2ピリオド、お互いに決定力を欠きシュートミスが目立つ。岐阜総合は、相手ガード陣へのプレッシャーを強めて相手のリズムを崩すが、自チームの外角シュートも決まらず、ロースコアの展開となった。美濃加茂は 横山の3点シュートで40-29とリードを広げて前半を折り返した。

第3ピリオド、美濃加茂は長身の 赤土をコートに戻すと、ゾーンプレスも奏効して、相手のミスを誘って着実に得点を伸ばす。インサイドでも 范、赤土が得点を重ねる。美濃加茂は70-46とリードを広げて、最終ピリオドを迎える。

第4ピリオド、美濃加茂はディフェンスのプレッシャーを緩めず、相手のミスを誘っては得点につなげていく。結局、高さでディフェンスのプレッシャーで上回る美濃加茂が92-65で岐阜総合を下して、決勝リーグ3勝とし、3年連続5回目の優勝を勝ち取った。岐阜総合もリバウンドやドライブで意地を見せ、最後まで戦う姿勢を崩さなかったが、及ばなかった。(河野未紗)

決勝 リーグ	岐阜農林 (1勝2敗)	77	$\begin{bmatrix} 21 & - & 29 \\ 19 & - & 18 \\ 8 & - & 12 \\ 29 & - & 14 \end{bmatrix}$	73	富田 (3敗)	菅野 浩・林 義貴

両チームとも2敗で迎えた、東海新人大会の出場権を懸けた決勝リーグの最終戦、互いにハーフコートマンツーマンでスタートした。岐阜農林は 早崎、富田は 山田を中心に攻撃を組み立てる。富田は、ディフェンスを2-3ゾーンに切り替えて相手のリズムを崩し、山田の3点シュート、石田、安藤のインサイドで得点し、29-21と富田のリードで終了する。

第2ピリオド、脚を生かした攻撃と高さのあるインサイドで勢いに乗りたい富田に対し、岐阜農林は、林、小島の3点シュートで追いつき、47-40と富田のリードで前半を折り返す。

第3ピリオド、岐阜農林は 小島の連続3点シュートで追い上げるが、富田も 安藤がゴール下で得点して一歩も譲らない。富田は 田中の速い攻めと、好アシストで得点を重ねて、59-48とリードを保って最終ピリオドに入った。

第4ピリオド、岐阜農林は 林の連続3点シュートで反撃を開始し、小島のこの試合6本目の3点シュートでついに逆転に成功した。その後、富田 新井の3点シュート、岐阜農林 林の3点シュートとシーソーゲームを繰り返す。岐阜農林は 小島の3点シュートと、早崎のバスケットカウントで突き放しにかかる。その後も、富田は 安藤のゴール下シュート、新井の3点シュート、岐阜農林は 早崎のドライブとお互いに力のこもったプレーを繰り返すが、岐阜農林は 小島のジャンプシュートが決まって77-73で劇的な勝利を収めた。粘り強いディフェンスとスピーディーでバランスの取れたオフェンスで、必死に戦った富田だったが、16本の3点シュートを決めた岐阜農林がそれを上回った。(中田真由美)

## 女子の部

&lt;審判&gt;

5位決定戦 土岐商 63  $\left[ \begin{array}{l} 16 - 14 \\ 13 - 11 \\ 20 - 14 \\ 14 - 17 \end{array} \right]$  56 岐阜農林 大豆村 斉・菅野恵美子

決勝リーグ 岐阜女子 86  $\left[ \begin{array}{l} 21 - 7 \\ 19 - 8 \\ 20 - 8 \\ 26 - 4 \end{array} \right]$  27 岐阜総合 加藤 文・森久美子  
(2勝) (2敗)

岐阜女子はオールコートマンツーマン、岐阜総合はハーフコートマンツーマンでスタートする。

第1ピリオド、互いに動きが固く、なかなかシュートが入らずロースコアの展開となる。岐阜女子は鋭いディフェンスから、小林、中西の3点シュートや速攻が決まり、第1ピリオドは21-7と岐阜女子がリードする。

第2ピリオドが始まると、岐阜総合は鈴木連続3点シュートが決まり、追い上げるが、岐阜女子は激しいディフェンスから相手のミスを誘い、森沢、中西のドライブなどで得点をあげていく。前半を終わって岐阜女子が40-15と大きくリードする。

第3ピリオド、岐阜女子は梶川のジャンプシュート、近田の連続3点シュートなどで加点していく。岐阜総合も、牧田の3点シュートや、ドライブで追い上げを図るが、得点が伸びない。

第4ピリオドに入っても岐阜女子は攻撃の手を緩めず、水野のジャンプシュート、加藤の速攻などで次々と得点をあげ、岐阜女子が86-27で勝利し、決勝リーグ2勝目をあげた。岐阜総合も全員が最後までよく走ったが、スピード、ディフェンスなどが及ばなかった。(吉福 司)

決勝リーグ 長良 73  $\left[ \begin{array}{l} 17 - 15 \\ 19 - 11 \\ 17 - 11 \\ 20 - 13 \end{array} \right]$  50 高山西 小泉純子・三宅浩平  
(2勝) (2敗)

長良はオールコートマンツーマン、高山西2-2-1のプレスディフェンスからの2-3ゾーンでスタートする。第1ピリオド、長良は井口のアウトサイドシュートを中心にオフェンスを組み立てる。対する高山西は張、筒井のポストプレイからファウルをもらい、フリ-スローで加点していく。第1ピリオドは長良が17-15とリードする。

第2ピリオドに入ると、互いに相手のディフェンスを崩せずなかなか得点できない。長良は大野がスティールからの速攻を次々と決め、徐々にリードを広げていく。高山西も早いパス回しから積極的にゴールを狙うが、得点が伸びない。前半は長良が36-26とリードして折り返す。

第3ピリオド、長良は大野、中島のスティールからの速攻や3点シュート、服部のインサイドとリズムよく加点していく。高山西も張のゴール下シュートなどで得点するも点差を縮めることができない。

第4ピリオド、長良は若園のミドルシュート、大野、服部が確実にフリースローを決め、相手の追い上げを許さない。最後まで走りきった長良が72-50で勝ち、決勝リーグ2勝目をあげた。高山西もオールコートマンツーマンでプレッシャーをかけ、石田がドライブ、3点シュートを決めたが、追いつくことはできなかった。(林 義貴)

決勝 リーグ	岐阜女子 (3勝)	83	$\begin{bmatrix} 24 & - & 9 \\ 24 & - & 10 \\ 21 & - & 15 \\ 14 & - & 9 \end{bmatrix}$	43	長良 (2勝1敗)	小牧秀則・廣瀬卓哉

互いにオールコートマンツーマンディフェンスで開始する。岐阜女子は 梶川の3点シュート、アイダのリバウンドシュート、森沢のドライブで得点していく。ディフェンスでは激しいプレッシャーをかけ続け、相手に思うように攻めさせない。第1ピリオドで、24-9と大きくリードする。

第2ピリオド、長良は 中島の3点シュートや、大野のジャンプシュートで追いかけるが、岐阜女子は 小林の3点シュートやゴール下シュート、アイダのレイアップやゴール下シュートで得点し、48-19とさらに点差を広げて前半を折り返す。

第3ピリオド、長良は 中島、今尾、林の3点シュートが決まり得点を伸ばしていく。しかし岐阜女子は、松島、アイダのリバウンドシュート、近田のジャンプシュートなどで対抗し、リードを保つ。さらに、水野、近田、小林のスティールから速攻が決まり、69-34として大量リードで第3ピリオドを終える。

第4ピリオド、岐阜女子はベンチメンバーを出場させたが、オールコートでのプレッシャーを緩めず相手のミスを誘い、中西のドライブ、廣瀬の速攻やジャンプシュートで得点していく。そのままリードを広げて岐阜女子が83-43で勝利し、決勝リーグ全勝で21年連続22回目の優勝を飾った。長良も最後までよく走ったが、点差を詰めるには至らなかった。(吉福 司)

決勝 リーグ	岐阜総合 (1勝2敗)	54	$\begin{bmatrix} 14 & - & 12 \\ 14 & - & 19 \\ 11 & - & 15 \\ 15 & - & 6 \end{bmatrix}$	52	高山西 (3敗)	角平和優・辻角政治

東海新人大会出場権を懸けた決勝リーグの最終戦、両チームともハーフコートマンツーマンでスタートする。第1ピリオド、お互いに緊張のためか、なかなかシュートが決まらない。開始7分、岐阜総合は 羽賀の3点シュートをきっかけに連続で得点し、流れをつかみかけるが、高山西も 筒井のインサイドの攻めで得点し粘りを見せる。14-12と岐阜総合が2点をリードして終了する。

第2ピリオド、岐阜総合は 牧田、小西の3点シュートで得点するが、高山西は 張の3連続リバウンドシュートで追い上げて、さらに 岡田のレイアップで逆転に成功する。岐阜総合はタイムアウトを2回とるが、流れは変わらず、31-28と高山西がリードして前半を終了する。

第3ピリオド、岐阜総合は 羽賀の連続得点で流れをつかみかけるが、高山西も 田口が3点シュートを2本連続で決めて、一進一退の攻防が続く。残り2分、高山西は 筒井がドライブで相手のファウルを誘い、フリースローで得点する。高山西は、ディフェンスをオールコートマンツーマンに切り替えて相手のミスを誘い、46-39とリードを奪って最終ピリオドを迎える。

第4ピリオド、岐阜総合は 羽賀のスティールからの得点、渡部の3点シュートなどで追い上げ、ディフェンスもオールコートマンツーマンに切り替える。高山西は 石田がドライブで得点して、対抗する。岐阜総合は 羽賀のドライブで追い上げ、残り42秒、渡部がリバウンドプレーでファウルをされて、得たフリースローを2本とも決めて52-52とついに同点に追いついた。残り7秒、岐阜総合は 牧田がドライブシュートを決めて、これが決勝点となった。結局、粘り強いディフェンスで最後まで諦めなかった岐阜総合が、54-52で接戦を制して3位となり、東海大会の出場権を得た。高山西も高さを武器に戦ったが、あと一歩及ばなかった。(林 紗規子)